

奈良革新懇

平和・民主・革新の日本をめざす奈良の会(奈良革新懇)
〒630-8213 奈良市登大路5-5 奈良県教育会館内

【携帯】080-4243-6370 【E-mail】tukasa55122000@yahoo.co.jp

全国革新懇ニュース475号(奈良版)

《発行》平和・民主・革新をめざす全国の会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8

千駄ヶ谷尾澤ビル

2025年12月・

2026年1月合併号

226号



地元・天理で、高市自民党

NO

!のデモ行進



天理の本通商店街のアーケードを、12月12日の午後に「高市自民党に、天理からNO!を」の横断幕を先頭に力強くデモ行進する天理民商、新婦人天理支部、農民連、天理原水協、天理教平和の会のみなさん。祝賀横断幕と「動く横断幕」の対比が鮮やかなショットです。

喜の渦などと報道されました。しかし、天理市民みんなが高市政権の右翼的な政治姿勢を支持しているわけではありません。高市政権の軍拡・増税路線は、天理市民の暮らしを押し潰していくことでしょう。

私たちの「動く横断幕」は
高市政権と真っ向から
対峙する姿となりました

高市政権に反対の声を上げることが是非とも必要であるとの思いが行動となった今回のデモ。本通商店街のアーケードに掲げられた「祝高市早苗総理大臣 ご就任おめでとうございます」の祝賀横断幕の下を行進。私たちの「動く横断幕」は、高市政権と真っ向から対峙する姿となりました。

宗教文化都市天理から、高市首相の「台湾有事」発言の誤りと危険性を糾す地元の声を、何としても響き渡らせようと願って歩きました。デモは、力強く進みました。

日本共産党天理市会議員

村木敬

天理市民みんなが
高市政権の右翼的政治姿勢を
支持しているわけではありません

12月12日、午後4時に天理駅に集合して、「高市自民党反対天理市民の会」が主催して、大軍拡の道を突き進む高市自民党政権に反対するデモ行進を行いました。

「高市自民党に、天理からNO!を」

の横断幕を先頭に行進。ハンドマイクで高市政権の間違いを糾す演説をしながら歩きました。デモは天理教の信者さん、学生さん、商店街でお買い物をする住民のみなさんの注目を集めました。道行く人たちは、「コクリ」と頷きながら笑顔ですれ違い、静かにエールを送ってくれました。

天理は、にわかに高市氏の地元であるとき、高市首相誕生に地元は歓



◆「高市総理、物価が上がり続くなか 軍事費より減税を！」まさに、年金者の痛切な叫びです。年金者組合奈良県本部が近鉄八木駅前て年金支給日の「年金者一揆」。年金者の怒りの街頭宣伝と座り込み行動が行われました(12月15日)。

学び・集い・声上げ

2026年を「共同」の前進で危機を押し返す年に

暮らし、平和、民主主義の危機に、より幅広い共同の力で立ち向かおう

食料品も、暖房費も、家賃も、交通費も、なにもかもが高騰しています。しかし、賃金も年金も、上がりません。

生活のゆとりは失われ、将来への不安と政治への不満が募っています。その不満の矛先が「外国人」に向けられ、排外主義的な言説が力を増しています。「中国になめられてたまるか!」の空気が煽られ、「軍拡ありき」の危険極まりない反動的ブロックが、あつという間に眼前に出現してきました。

衆院定数削減、スパイ防止法、9条改憲、ずらり並んだ「軍拡」メニュー、挙句のはてには官邸幹部の「核保有」発言。…今こそ「共同」の力で、暮らし、民主主義、平和の危機を押し返す2026年に!



◆生駒革新懇も構成団体の「憲法改悪を許さない生駒共同センター」の「19日行動」(12月19日)。「戦争はいやだ!」「超危険な祝園ミサイル弾薬庫は目の前です!」の横断幕は訴える力が抜群です。奈良革新懇顧問の西、み子さん(90歳)が、高市首相の対中国の姿勢を厳しく批判しました。



◆平群町では13人で19日宣伝



◆広陵9条の会が19日宣伝



◆王寺町自治体キャラバンの要請交渉(12月4日)。副町長や教育長他各部長相手に県実行委員会と新婦人など5団体が要請行動を行いました。



◆奈良1区市民連合地域交流会主催の学習会が奈良市で行われ、53人が参加(12月7日)。全国革新懇代表世話人の富田宏治さんが、「高市自・維政権の危険性と“危うさ”~極右反動政権を許さぬ新たな共同を~」をテーマに、情報量満載の充実した講演会でした。「分断に立ち向かうには対話しかない」と富田さんは強調しました。



◆治安維持法100年を考える奈良県民の会主催の渡辺治氏の講演会が生駒市内で開催され、240人が参加しました(11月9日)。百数十を超える個人・団体の賛同に支えられ、4回にわたる学習会を積み重ねて行ったものです。



小西誠氏

◆「ほうその奈良の会」は、10.19祝園全国集会の成功を次のステップに押し上げていこうと、2026年4月18日(土)開催予定の軍事ジャーナリスト・小西誠氏の講演集会開催の成功に向けた第1回実行委員会を行いました(12月13日)。参加した30人弱が全員発言して充実した論議になりました。



◆ロシアのウクライナ侵略もイスラエルによるガザ住民へのジェノサイドも許さない第46回県民集会とデモが11月24日に行われました。国連憲章と国際法に基づく公正な平和をウクライナにも、パレスチナにも!! 国際社会の平和の実現に向けた不断の努力は、核兵器廃絶とともに憲法9条が要請するものです。奈良から「戦争あかん」の声を上げ続けましょう!!



◆奈良県憲法共同センターが「スパイ防止法」学習会を開催(12月5日)。講師の佐藤真理弁護士は、特定秘密保護法制制定以上の危機感を持って反対運動を広げていこうと訴えました。



◆10月25・26日に愛知で行われた日本平和大会の報告会が同奈良県実行委員会の主催で開催されました(12月16日)。大会参加者の報告を中心に内容の濃い報告会だったと好評でした。

若者を戦場に送るな

自衛隊への名簿提供問題はまだまだ周知されていません

自衛隊名簿提供違憲訴訟(RYU裁判)へのいっそうの支援を訴えます

RYU裁判原告弁護団事務局長の諸富健弁護士は「自衛隊名簿問題は、まさに今年、正念場の一つを迎えます」と平和新聞「奈良県版」に寄稿しています。

「高市軍拡」に欠かすことができないのが、これを支える人的基盤。自衛官の確保ですが、自衛官の応募者数は減り続け、その充足率も減少

支援する会作成のミニパンフの表紙


RYU裁判原告弁護団事務局長の諸富健弁護士は「自衛隊名簿問題は、まさに今年、正念場の一つを迎えます」と平和新聞「奈良県版」に寄稿しています。



A5版8ページ1部30円

Q9 なぜ、こんな強引な適齢者名簿収集をおしすすめているのですか？

A9 自衛官の充足率が低下し、隊員が不足しているからです。2023年度は定員約24万7000人のところが、約2万3000人が不足。2024年度は、定員に対する充足率が25年ぶりに9割を下回りました。



年度	現員数	充足率
R3	230,754	93%
R4	227,843	92%
R5	223,511	90%

年度	自治体数	割合
2018	683	39%
2019	719	41%
2020	810	47%
2021	982	55%
2022	1068	61%
2023	1138	65%
2024	1152	66%

●入隊する人が少ない
2023年度の新規採用の達成率は51%。2024年度には約1万5000人の採用計画でしたが、1万人に届きませんでした。

●中途退職者が増増
2014年の集団的自衛権の行使容認の閣議決定と2015年の安保法制強行、2022年度の安保3文書の改定で戦闘地への派遣が現実的に。2023年度の自衛官の中途退職者は、過去30年で最多の6258人と増増しています。

●政治的圧力と防衛省の募集体制の強化
2019年には当時の安倍首相が国会等で繰り返し「6割以上の自治体から必要な協力が得られていない」と発言するなど政治的圧力が加えられ、防衛省による募集体制の強化がはかられたことが背景にあります。

●そうした中でも、34%の自治体が名簿提供にに応じていない事実があります。



◆自衛隊名簿提供違憲訴訟(RYU裁判)の第7回口頭弁論が11月17日、奈良地裁大法廷で行われました。

口頭弁論終了後に行われた報告集会で八木和也弁護士が「個人情報保護とは何か。自衛隊法97条・施行令120条が根拠とならないわけ」と題してミニ講演を行いました。

2024年12月の関係閣僚会議で、すべての市区町村から電子データ又は紙媒体の提供が得られることを目指すとされ、自・維の連立政権により自衛隊の人的基盤の強化も目論まれています。自衛隊名簿問題は、まさに今年、正念場の一つを迎えようとしています。

次回・第8回口頭弁論は2月24日(火)14:30 から奈良地裁101号大法廷で行われます。傍聴席を満席にしましょう。



◆憲法9条を守る生駒共同センター主催のRYU裁判学習会が11月22日に行われ、35人が参加。講師は原告弁護団副団長の愛須勝也弁護士で1年8カ月のRYU裁判の到達点を反映した濃い内容の学習会でした。県内では、天理市や奈良市に続く学習会で、2月14日に北葛城郡での学習会を計画しています。



◆12月8日、国会内で国宛署名8737筆分の第1次提出行動と政府交渉が行われました。政府交渉では、政府側からは防衛省、総務省、人事院、個人情報保護委員会から11名が対応。奈良県平和委員会の河戸理事長と平和新聞前編集長の有田さんを中心とした理路整然とした鋭い追及に政府側はたじたじでした。質問に対してまともに答えないというよりも回答不能であることが可視化された交渉でした。



RYU裁判を支援する会は、11月の大阪、京都に続いて12月も滋賀、兵庫、愛知の教組や民青同盟などを訪問し、RYU裁判への支援要請を行いました。12月15日は愛知高教組、民青同盟愛知県委員会、日本共産党愛知県委員会を訪問。民青同盟は支援する会作成の「ミニパンフ」百部を早速注文してくれました。

待望の「支援する会」作成のミニパンフが完成しました。学習会に、署名に大いに活用していきましょう！

「全国革新懇ニュース」の 読者拡大と

奈良革新懇への年末カンパの ご協力をよろしくお願ひします。

● さよなら自民党政治の旗を高く掲げて、政治を大本から変える革新懇運動の出番の情勢です。この情勢にふさわしい奈良県における革新懇運動の活性化と発展のために、財政基盤の強化が求められています。その要は「全国革新懇ニュース」の拡大にあります。奈良革新懇の賛同団体や地域革新懇のみなさんの力をお貸しください。

● 奈良革新懇への年末カンパへのご協力もよろしくお願ひします。

《年末カンパの振込先》

郵便振替 00900-6-264537

- ・加入者氏名は「奈良革新懇」
- ・通信欄には「年末カンパ」とお書きください。



映画「荒野に希望の灯をともし」 上映会に計470人が鑑賞



奈良革新懇が呼びかけて実行委員会をつく

つて取り組んだ「劇場版≒荒野に希望に灯をともし」の上映が12月12日にやまと郡山城ホールで行われ、午前・午後・夜の三回上映の合計で470人が鑑賞しました。戦争か平和かの岐路に立つ今日の情勢にあつて、極めてタイムリーかつ重要な意義を持つ上映運動となりました。憲法9条の精神を体現して生きた中村

哲さんの生き方への感動や共感の大きさは130通もの感想文にも反映していました。また、ペシヤワール会への支援募金は総額42万円超となりました。「武器なき国際貢献」「武力で平和を守れない」を問う本作品は、鑑賞者の心に希望の灯をともし、映画の力の大きさを再認識させてくれました。

憲法9条の精神を体現して生きた 医師・中村哲さんの生き方に感動

情勢をやさしく深く学ぶ

《奈良革新懇主催》連続学習会

第3回講師は

石川 康宏さんに決定!!

(全国革新懇代表世話人)



石川 康宏さん

1957年北海道札幌市生まれ。西宮市在住。マルクスを研究する経済学者。神戸学院大学名誉教授。

「高市人気の正体を深堀りする。そして私たちは今、この危機にどう立ち向かうか」
「台湾有事」発言に始まって、その帰結としての官邸幹部の「核保有」発言！
なのにこの「高市人気」とは？！
新しい政治実現の展望も、たっぷりと縦横に石川さんに語っていただきます。

日時 **2月28日(土)**

13:30~16:00

会場 **奈良市生涯学習センター**
(予定)

お詫びと訂正

●「奈良革新懇ニュース」2025年11月号の3面下段の10、19祝園全国集会についての記事左の写真の説明文について、集会とは全く関係のない文章を掲載してしまいました。混乱と誤解を招き、申し訳ありません。お詫びとともに以下の文に差し替え、訂正します。

《上の写真についての説明文の差し替え》

「精華町に全国から2700人が参集。京都府南部としても最大規模の大集会になりました。」

《下の写真について説明文の差し替え》

「住民や宗教者と新しいネットワークをつくってきた『奈良の会』の報告と力強い訴えが注目を浴びました。」

❖編集後記❖

◆映画「荒野に希望の灯をともし」の感想文130通の「感想文集」づくりに取り組んでいます。「私は将来、中村哲さんのように、特に難民の子どもたちを支える活動に取り組む起業家になりたいと考えています」という感想文を寄せてくれた高校1年生のNさんに、この映画の上映運動を通して出会えたのがうれしい。◆学校で子どもたちに観てもらいたい。高市早苗氏に観てもらい……という感想も多かったですよ。